



# 町長エッセイ

## 世界遺産登録で観光客は10倍以上!

みなさんこんにちは

今年もいつの間にかカレンダーをめくる枚数が少なくなっていました。ひとときわ寂しさを感じますが、今年の冬はどうでしょう?大雪の覚悟はしておいたほうが間違いなさそうです。

今年の10月は、昨年まで合併騒ぎでどこにも研修できませんでしたので、改めて、新しいまちづくりに関係しそうな地域の視察研修を行ってきました。国内では紀州和歌山を中心に世界遺産の熊野古道を活かした観光や、特産の梅を活用したまちづくり等を研修し、また、世界を見たときには、今、中国ははずせないとして中国にも初めて行って参りました。

いまや、国内の産業といえばIT、自動車、液晶といった勝ち組ですが、これらはいずれも中国の経済に支えられているといえるでしょう。北京でのオリンピックを2年後に控え、年々姿を変えて行く国です。ただ、日本の10倍以上の人口を抱え、中国もこのままでは環境の悪化と格差の拡大の中、日本のバブルの崩壊と同じ道を早晚進むのではないかと、そして、日本への影響はどうなるのかを心配しています。

観光といった観点では、敦煌の莫高窟や兵馬俑坑、秦の始皇帝陵、孔子廟など中国世界遺産の観光地も観てきました。

庄内でも出羽三山を中心とした世界遺産登録を目論んでいます。この登録は観光産業として想像以上の効果を生む事は間違いのないと思います。北海道・東北でも知床や白神山地などがありますが、単純にこれまでの10倍以上の観光客が見込めるといわれていますし、それに伴う経済効果は計り知れないものと思います。

それらに向けて庄内町も準備をして置く必要があります。

百聞は一見に如かず。ぜひ、皆さんも行って見てはいかがでしょうか?

庄内町長 原田真樹